

発行:青森県教育庁教育政策課学校の幸せ推進室（〒030-8540 青森市長島1-1-1）

青森市 小学校長会

“職員室を「チーム」に「学びの転換」を実現する”をテーマに研修会を実施！



令和8年6月29日、“職員室を「チーム」に「学びの転換」を実現する”をテーマに、青森市小学校長研修会が青森市教育研修センターにて開催されました。

当課が実施している学校業務改善伴走型支援事業の委託業者である（株）先生の幸せ研究所のコンサルタント 青山光一氏（大日向中等教育学校校長）を講師に、学校経営のリーダーである校長にとって重要となる「チームビルディング」、こども主体の学びを実現するための「学びの転換」について、深く学ぶことのできる有意義な時間となりました。



研修会の内容

コンサルタント及び現職の校長でもある青山さんから、御自身の実践や他県の事例を交え、わかりやすくお話いただきました！その概要を紹介します！！



○学校・職員室を**チーム**にしていくためには、「形成期・混乱期・統一期・機能期」のプロセスにおける各段階において、「集団に必要なこと」「話し合いのスタイル」「成長促進のポイント」「リーダーの関わり方」「メンタルモデル」という5つの視点に基づくアクションを起こすことが大切です。



○東京都のある小学校では、「勤務時間内に仕事が終わらない」「職員の人間関係が微妙（派閥的なものも存在）」など多くの課題を抱えていましたが、**教員主体の取組**により、1年で大きく変化しました。

東京都小学校の事例

①余白づくり
対話を促進

②ビジョンを
言語化

③教員主体の
プロジェクト

④月曜日に来
たくなる学校



【対話を促進するために】

時程の見直し

16時下校→15時下校

職員1人あたり60分×20人

=1200分の時間を創出

余白→対話を促進するしかけ

余白をつくるための本音を出し合う場が、
対話を促進するきっかけになっています！

東京都小学校の事例

①余白づくり
対話を促進

②ビジョンを
言語化

③教員主体の
プロジェクト

④月曜日に来
たくなる学校



【対話を促進するために】

水曜日の午後カット

余剰時数40～70→ほぼ0に

職員の自主研修を推奨

持ち回りで研修を主催

お互いの実践を共有→対話が促進

東京都小学校の事例

①余白づくり
対話を促進

②ビジョンを
言語化

③教員主体の
プロジェクト

④月曜日に来
たくなる学校

【教師主体のプロジェクト】

- ▶異学年で学ぶ探究授業 pj
- ▶年間20回の研修授業 pj
- ▶ブッククラブ pj
- ▶職員室カフェ化 pj
- ▶学芸会の転換 pj
- ▶「学び合い」 pj
- ▶単元内自由進度 pj
- ▶国語の「てびき書」作成 pj



教師主体のプロジェクトにより
学校経営への参画意識が高まり、
一人一人の「やりがい」の向上に
つながっています！

職員全員がプライベートの充実を含めた
「働きやすさ」と「やりがい」を実感し、学
力向上や不登校ゼロなど、こどもたちに
とっても楽しく幸せいっぱい为学校づくり
を実現しています！

東京都小学校の事例

①余白づくり
対話を促進

②ビジョンを
言語化

③教員主体の
プロジェクト

④月曜日に来
たくなる学校

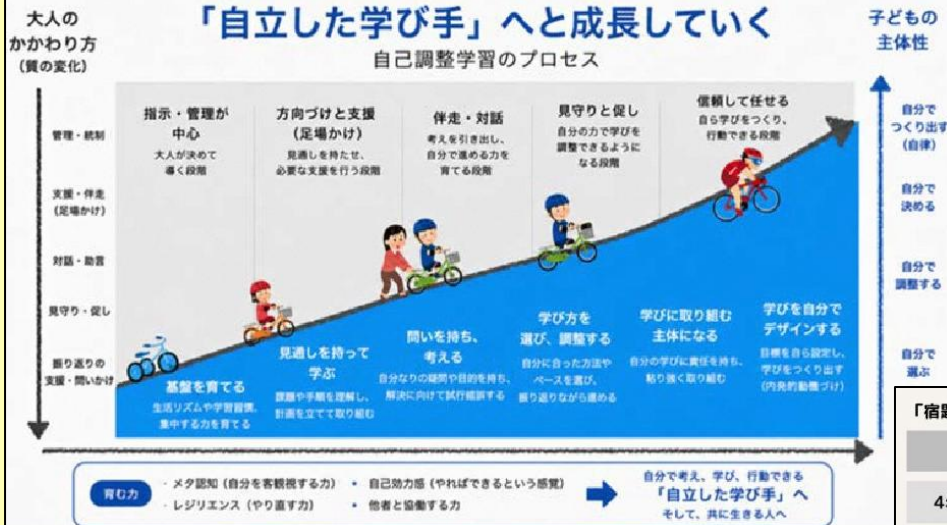


- ▶教務主任が16時半に退勤→プライベートの充実
- ▶18時以降にはほぼ全員が退勤→プライベートの充実
- ▶保護者からのクレームはほぼ無し & 子どもの不登校ゼロ
- ▶おとなも子どもも「月曜日に来たくなる学校」が実現
- ▶じわじわと学力も向上

自己調整学習って？

「自立した学び手」へと成長していく

自己調整学習のプロセス



こども主体の学びを実現
するための手法の一つである
「自己調整学習」の段階的な
プロセスです。こどもに委ねる
場面と一斉指導とのバランス
や必然性がポイントです。

○こどもを自立した学び手へと
成長させるために、授業はもち
ろんのこと、宿題を含めた全
ての教育活動で**学びの転換**
を図っていくことが大切です。

宿題を廃止し、こども自ら学習する指導
に変更した結果、学力が向上しました！

「宿題廃止」から1年4ヶ月後の学力調査(2018年1学期実施)

	国語	算数	社会	理科
4年生の学力	71.9	74.1	81.3	73.9
全国平均	63.7	65.5	68.2	69.6
目標値	53.2	55.2	60.3	66.3
全国との差	+8.2	+8.6	+13.1	+4.3

※「宿題廃止」前は全国との差が-10~-15ポイント
※実質的な学力の上昇は+15~20ポイント

お知らせ

あなたの「学校」「教育団体」でも
「学校業務改善伴走型支援事業」を活用してみませんか？

今号で紹介した青森市小学校長研修会は、**学校業務改善伴走型支援事業**を活用したものであり、その後2回目の研修会(オンライン)を実施するなど、大変好評をいただいております。昨年度は、計48校の学校(小・中・高・特支)、計19団体の教育団体(校長会・教頭会など)が実施し、今年度はすでに昨年度を上回る数の学校から申込をいただいております！！専門のコンサルタント及び教育委員会職員の支援を受けながら、各学校・教育団体が主体的に業務改善を進めています。更に今年度は新たに「授業改善」をメニューに加え、こちらも大変好評です！「まずはやってみよう！」のマインドで、あなたの学校または教育団体でも取り組んでみませんか？たくさんの申込をお待ちしています！！

申込は
こちらから！

